



## desknet's NEO SAML 連携設定手順書

2019 年 1 月

 株式会社セシオス

## 目次

1. はじめに .....	3
2. desknet's NEO SAML 連携前の初期設定 .....	4
3. desknet's NEO SAML 設定 .....	5
4. SeciossLink SAML サービスプロバイダ設定 .....	7
5. 動作確認 .....	9
6. 制限事項 .....	10

## 1. はじめに

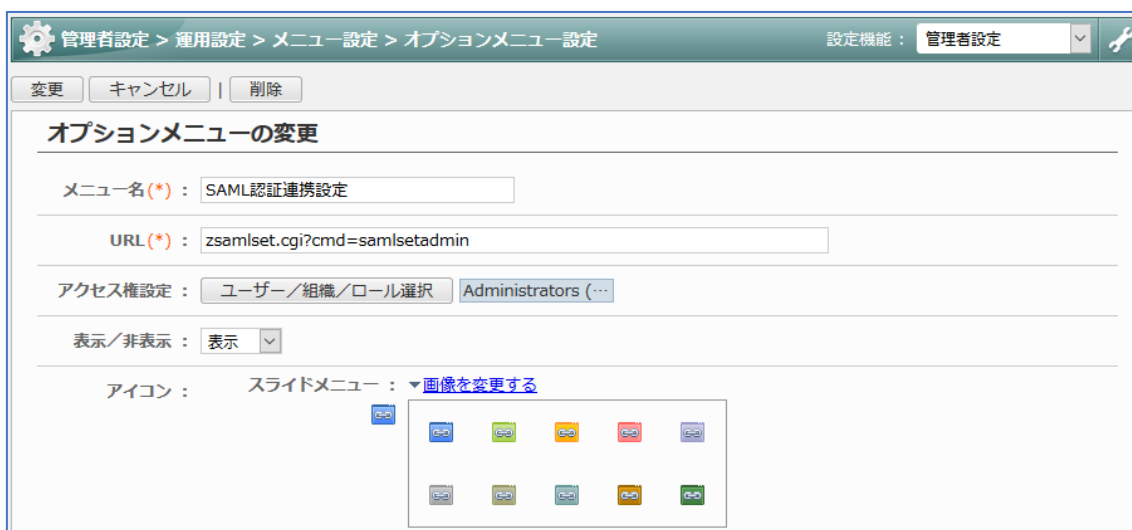
- 本手順書は株式会社セシオスが提供している IDaaS「SeciossLink」と株式会社ネオジャパンの「desknet's NEO」と SAML 連携を行うための手順書です。
- 本書は 2019 年 1 月 18 日時点の情報を元に作成しており、以降については実際の画面や仕様が異なる場合があります。
- 本手順の内容に関して、万全を期しておりますが、その内容の正確性を保証するものではありませんのでご了承ください。
- 「desknet's NEO」に関する仕様や設定方法は、製造メーカー、購入パートナーへお問い合わせください。
- 「SeciossLink」に関するお問い合わせは以下の URL より行ってください。
  - ・お問い合わせ URL: <https://seciosslink.com/contact>
- 当該情報に基づいて、利用者が被る一切の損害について、何等責任を負いません。

## desknet's NEO SAML 連携設定手順

### 2. desknet's NEO SAML 連携前の初期設定

「desknet's NEO」のメニューに SAML 設定用のオプションメニューを追加します。

「desknet's NEO」に管理者権限を持ったアカウントでログインし、メニューから「管理者設定>メニュー設定>オプションメニュー設定」から、「オプションメニューの追加」ボタンを押してください。



項目名	入力値
メニュー名	任意のメニュー名を入力してください。
URL	クラウド版は以下の値を入力してください。 zsamlset.cgi?cmd=samlsetadmin
アクセス権設定	「ユーザー/組織/ロール選択」ボタンを押し、「ロール」タブを選択、「Administrators ロール」を設定してください。
表示/非表示	「表示」を選択（デフォルト）してください。

作成した「オプションメニュー」を画面に表示させる設定を行います。

システム管理者にてログイン後、ポータル画面右上の歯車アイコンより、[共通ポータルデザイン設定]を開き、配置した[メニュー]コンテンツの”メニュー”のリンク部分を押下すると、メニューコンテンツの詳細設定を開きます。

[desknet's NEO メニュー]と表示されていますプルダウンを[オプションメニュー]に切り替え、対象のオプションメニューをメニュー内にドラッグ&ドロップします。

### 3. desknet's NEO SAML 設定

先の手順にて、「desknet's NEO」のシステム管理画面に SAML 設定用のメニューを追加しましたので、メニューを開き、SAML 連携用の設定を行います。

以下の入力項目に値を設定、「変更」ボタンで設定を反映してください。

#### 共通設定

SAML認証連携 :  使用する    使用しない  
※ "使用する"に設定すると、以下で設定するサービスにログインするための「SAML認証でログイン」が行えるようになります。

---

NEOへのアクセスURL :

本体 :  /dneo.cgi  
※ desknet's NEOへのアクセスURLを入力してください。  
 例) https://servername.domain.com/scripts/dneo/dneo.cgi

スマートフォン版 :  /dneosp.cgi  
※ desknet's NEOスマートフォン版へのアクセスURLを入力してください。  
 例) https://servername.domain.com/scripts/dneosp/dneosp.cgi

---

#### SAML認証連携設定

IdPサーバー設定 :      アクセスURL (\*) :   
(PC版)

SP エンティティID :

---

IdPサーバー設定 :      アクセスURL :   
(スマートフォン版)

SP エンティティID :

※ (\*)は必須項目です。

#### 【共通設定】

項目名	入力値
SAML 認証連携	「使用する」を選択してください。
NEO へのアクセス URL 本体	desknet's NEO にアクセスする際に使用している URL を入力してください。 例)https://servername.domain/cgi-bin/dneo/dneo.cgi
NEO へのアクセス URL スマートフォン版	desknet's NEO にアクセスする際に使用している URL を入力してください。 例)https://servername.domain/cgi-bin/dneosp/dneosp.cgi

NEO へのアクセス URL 項目は最後の部分 (「~/dneo.cgi」、「~/dneosp.cgi」) が固定となっておりますので、実際に入力する値は「https://servername.domain/cgi-bin/dneo」までとなります。ご注意ください。

【SAML 認証連携設定】

項目名	入力値	
IdP サーバ設定 (PC 版)	アクセス URL	<p>SeciossLink へリダイレクトする URL を入力してください。</p> <p>例)https://slink.secioss.com/saml/saml2/idp/SSOService.php/テナント ID</p> <p>テナント ID は SeciossLink ご契約時にお知らせしている値です。</p>
	SP エンティティ ID	<p>「desknet's NEO」を識別する一意の値を入力してください。</p> <p>例)https://servername.domain</p> <p>この値は SeciossLink 側の設定でも必要になります。</p>
IdP サーバ設定 (スマートフォン版)	アクセス URL	<p>SeciossLink へリダイレクトする URL を入力してください。</p> <p>※PC 版と同じ値を入力してください。</p> <p>例)https://slink.secioss.com/saml/saml2/idp/SSOService.php/テナント ID</p> <p>テナント ID は SeciossLink ご契約時にお知らせしている値です。</p>
	SP エンティティ ID	<p>「desknet's NEO」を識別する一意の値を入力してください。</p> <p>※PC 版と同じ値を入力してください。</p> <p>例)https://servername.domain</p> <p>この値は SeciossLink 側の設定でも必要になります。</p>

設定完了後、「SAML 認証に使用する URL」が画面に表示されます。この URL は今後、ユーザがアクセスする URL となります。

#### 4. SeciossLink SAML サービスプロバイダ設定

先の手順で、SP側(desknet's NEO)の設定が完了しましたので、今度はIdP側(SeciossLink)の設定を行います。

SeciossLinkの管理画面から「SAML サービスプロバイダ」に「desknet's NEO」とSAML連携するための設定を行います。

- ① SeciossLinkの管理画面にログインします。
- ② 左メニュー「シングルサインオン」-「SAML サービスプロバイダ」を開きます。
- ③ 画面右上の「登録」タブを開きます。
- ④ 入力項目に「desknet's NEO」とSAML連携するための値を入力し、「保存」します。

サービスID※	<input type="text" value="desknetsNEO"/> -demo.com
サービス名※	<input type="text" value="desknetsNEO"/>
エンティティID※	<input type="text" value="https://servername.com"/>
Assertion Consumer Service	<input type="text" value="https://servername.com/cgi-bin/dneo/zsaml.cgi"/> <input type="text" value="https://servername.com/cgi-bin/dneosp/zsamlsp"/> <input type="button" value="追加"/>
ログアウトURL	<input type="text"/> <input type="checkbox"/> ログアウトの署名
アクセス先URL	<input type="text"/>
IDの属性	<input type="text" value="urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:nameid-format:persistent"/> ▼
ユーザIDの属性	<input type="text" value="ユーザID"/> ▼

項目	入力値
サービス ID	サービスを識別する一意の値です。任意の値を入力してください。
サービス名	画面に表示されるサービス名です。任意の値を入力してください。
エンティティ ID	「desknet's NEO」の SAML 設定で入力した「SP エンティティ ID」を入力します。 例)https://servername.domain
Assertion Consumer Service	PC用とスマートフォン用の2つのACSの値を入力する必要があるため、「追加」ボタンを押して入力欄を増やし、ACSを入力して

	<p>ください。</p> <p>【例：PC用】  <a href="https://servername.com/cgi-bin/dneo/zsaml.cgi">https://servername.com/cgi-bin/dneo/zsaml.cgi</a></p> <p>【例：スマートフォン用】  <a href="https://servername.com/cgi-bin/dneosp/zsamlsp.cgi">https://servername.com/cgi-bin/dneosp/zsamlsp.cgi</a></p>
<b>IDの属性</b>	「urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:nameid-format:persistent」を選択してください。※デフォルト値
<b>ユーザIDの属性</b>	「ユーザID」を選択してください。※デフォルト値

以上で、SAML連携の設定は完了です。

SeciossLinkではアクセス制御機能があり、ユーザに連携サービスを利用させるためには、ユーザの編集画面の「許可するサービス」にて、今回追加しました「desknet's NEO」にチェックを入れる必要があります。

また、ユーザ数が多い場合には、一括で設定ができる「プロフィール機能」やユーザ追加時に自動的に「プロフィール（ロール）」を付与する便利な機能がございますので、ご利用ください。

SeciossLinkの詳しい機能についてはオンラインマニュアルを参照してください。

■SeciossLink 管理者ガイド

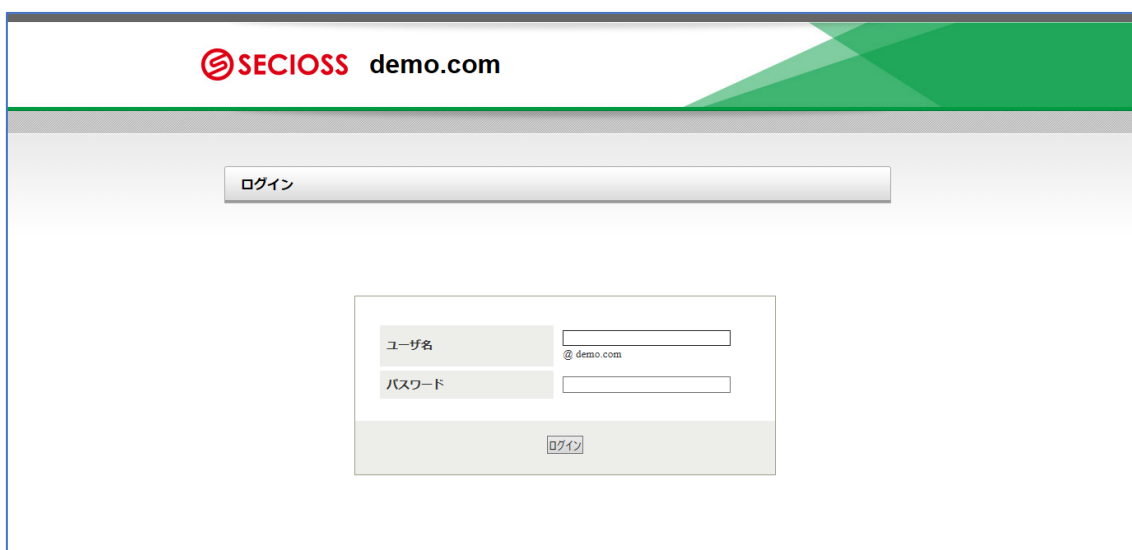
[https://seciosslink.com/manual/manual\\_cate/managementguide](https://seciosslink.com/manual/manual_cate/managementguide)



## 5. 動作確認

「desknet's NEO」側の SAML 設定完了時に表示された「SAML 認証に使用する URL」へアクセスすると、SeciossLink へリダイレクトされ、ログイン画面が表示されます。

SeciossLink は設定された認証方式で認証を要求します。ここでは「ID/Pass」方式を前提としますが、OTP や証明書認証など多要素認証が可能です。



「ID/Pass」を入力し「ログイン」ボタンを押し、認証が正常に完了すると「desknet's NEO」のポータル画面が表示されます。

なお、SeciossLink の「ユーザ ID」と「desknet's NEO」の「ログイン ID」が紐づいているため、一致している必要があります。

SeciossLink のユーザ情報 (例)	Desknet's NEO のユーザ情報 (例)
ユーザ ID : secioss-test	ログイン ID : secioss-test
パスワード : 認証時に利用します。	パスワード : SAML 認証時には利用されません。一般的にはユーザが知ることができないランダムなパスワードを設定します。

## 6. 制限事項

本手順書作成時点（2019年1月18日）で、「desknet's NEO」側の制限事項として以下の情報が公開されています。

- ・ SP のログアウト時、IdP からログアウトする“シングルログアウト”は未対応です。
- ・ SP 側ではログイン ID について、大文字/小文字の区別はしていません。

詳しくは「desknet's NEO」製品ページの制限事項を参照ください。

【SAML 認証連携での制限事項および対応状況（2018年11月現在）】

[https://www.desknets.com/neo/requirement/limit\\_saml.html](https://www.desknets.com/neo/requirement/limit_saml.html)

以上。